

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|----------------------------|----------|----|---------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり | ①市民参画・協働 | 1 | 市民参画・協働 |

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 事業名 | 新年互礼会事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|---------|------|-------|

【事業の概要】

| | |
|------------|--|
| (事業の目的・趣旨) | 市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図る。 |
| (事業概要等) | 市内の企業、団体の関係者等を招き、新年の挨拶を行った後、親睦を深めるとともに、今後の市政への協力を仰ぎ、意見・情報交換を行う。 |

【事業費】

| 項目／年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 0 | 293 | 316 | 321 | |
| うち市負担分(千円) | 0 | 293 | 316 | 321 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|--|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 新年互礼会参加者数 | 人 | - | 約250 | 約260 | 約300 |
| (指標を設定できない理由) | | | | | |
| (成果の概要) | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、開催時間を短縮せず、令和元年度以前と同様の形態で開催した結果、約260人が参加し、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることができた。 | | | | | |

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、開催時間を短縮せず、令和元年度以前と同様の形態で開催した。 市の食に対する取組みを知っていただくとともに、参加者の皆さんの1年間の健康を願って、記念品として金芽米を配布した。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|---|
| 課題・問題点 | 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、開催時間を短縮せず、令和元年度以前と同様の形態で開催した結果、約260人参加したが、コロナ禍前に比べて参加人数が減少した。当該事業は、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることが目的であることから、参加者を増やすための方法について、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。 |
|--------|---|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|---|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 様々な方が出席し、親睦を深めるとともに意見・情報交換を行うことにより、市政への理解や協力を得ることができ、本市の発展に繋がると思われる。そのため、参加者数を増やすための方法や参加者同士の懇談時間を長く設けるなど、更に活発な意見・情報交換の場とするための方法について検討していく。 |

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|----------------------------|----------|----|------------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり | ①市民参画・協働 | 1 | 市政への市民参画推進 |

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 事業名 | 有功者表彰事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|---------|------|-------|

【事業の概要】

| |
|---|
| (事業の目的・趣旨) |
| 永年、市の行政、教育、文化、産業及び社会福祉などの向上、その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して市民とともに表彰することで、目標や励みとなるほか、市政への理解を深めてもらい市民の意識高揚を図ることを目的とする。 |
| (事業概要等) |
| 泉大津市有功者表彰条例に基づき、文化の日(11月3日)に永年、市の行政、教育、文化、産業及び社会福祉などの向上、その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して、表彰状、有功章及び記念品を贈り、表彰式典を開催する。 |

【事業費】

| 項目／年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 558 | 176 | 799 | 1,164 | |
| うち市負担分(千円) | 558 | 176 | 726 | 1,064 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|--|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 有功者表彰式典開催数 | 回 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 新たな有功者 | 人 | 2 | 0 | 2 | 5 |
| (指標を設定できない理由) | | | | | |
| (成果の概要) | | | | | |
| 永年、市に貢献された方々を市民とともに祝い、行政と市民の距離を縮めることにより、親睦が深まり、様々な意見交換がなされるようになった。 | | | | | |

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | 令和4年度は被表彰者の該当がなく表彰式典を開催していない。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、令和元年度以前と同規模の表彰式典及び祝賀会を初めてホテルにて開催した。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|---|
| 課題・問題点 | 令和2年度及び同3年度はコロナ禍のため規模を縮小して実施した。令和4年度は被表彰者の該当がなく開催していない。令和5年度はホテル開催に変更後、初めての会場での実施であったため、会場内の動線や運営について事前に想定できていなかった部分を改善する必要がある。 |
|--------|---|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|---|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、令和元年度以前と同規模で表彰式典及び祝賀会を開催した。令和2年度及び同3年度と異なる会場での実施となり、会場設営や運営について反省すべき点があった。永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式典であり、今後も継続して行うが、参加申込方法や会場設営・運営方法などについて、より良い式典が開催できるよう検討が必要である。 |

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|------------------------|-------|----|--------------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり | ①商工業 | 1 | 地域ブランドの活用と確立 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|-------|
| 事業名 | マスコットキャラクター運営事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|-----------------|------|-------|

【事業の概要】

| |
|--|
| (事業の目的・趣旨) |
| マスコットキャラクター「おづみん」を活用し、毛布とニットのまち泉大津を市内外にPRするとともに、各種イベントへの参加やイラストを活用いただくことで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティプロモーション(地域のPR)を行う |
| (事業概要等) |
| 「おづみん」の着ぐるみの貸し出し、イラスト使用申請に係る許認可、おづみんグッズの販売、市ホームページ「おづみんの部屋」やX(旧Twitter)「おづみん@泉大津市【公式】」でイベント参加における感想をつぶやくことで、おづみんを通じて市内外へシティプロモーションを行う。 |

【事業費】

| 項目/年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 1,631 | 1,520 | 917 | 2,919 | |
| うち市負担分(千円) | 37 | 36 | 0 | 990 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|---|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| イラスト使用承認件数(一般向け) | 件 | 23 | 29 | 33 | 40 |
| 着ぐるみ参加イベント数 | 件 | 17 | 62 | 55 | 60 |
| 着ぐるみ貸出件数(一般向け) | 件 | 10 | 29 | 27 | 30 |
| (指標を設定できない理由) | | | | | |
| (成果の概要) | | | | | |
| 市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントに数多くイベントに参加。またイラストを活用したチラシや雑貨品の販売などを通じて市民の郷土愛の醸成に大きく寄与した。また、「おづみん@泉大津市【公式】」で情報発信を行うことで、市内外を問わず、広く本市のシティプロモーションができた。 | | | | | |

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | 令和4年度までは、月に数回、年間84回だったXの投稿を、積極的なシティプロモーション活動を契機に週2回の投稿を行い年間214回発信した。また、市外で開催されたイベントでフォロワー数を増やす企画を実施した。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|--|
| 課題・問題点 | 市内で行われるイベント開催が徐々に増え、あわせておづみんの活動も活発となった。一方で、全国的な規模で開催されるイベントは減少し、全国のどの地域で実施されるかの情報収集が必要である。 |
|--------|--|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|---|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 本市に興味・関心を持ってもらうため、さらにフォロワー数を増やし、情報の拡散力を高める必要がある。シティプロモーションのターゲット層である子育て世代が多く来場すると見込めるイベントの情報収集に努め、積極的に参加し、おづみんを通して来場者に直接PRするとともに、X(旧Twitter)やInstagramも活用したプロモーション活動を実施することで、市の認知度向上とおづみんの認知度向上につなげていく。 |

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|----------------------------|--------|----|---------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス | ①行財政運営 | 2 | 歳入の確保 |

| | | | |
|-----|----------------|------|-------|
| 事業名 | 泉大津市ふるさと応援寄附事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|----------------|------|-------|

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。

(事業概要等)

泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に謝礼としてふるさと産品を進呈する。ふるさと納税制度への参加促進及び新たな返礼品の創出や改良を行うことで、安定的な寄附金の獲得に努める。

【事業費】

| 項目／年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 265,205 | 301,848 | 317,064 | 474,118 | |
| うち市負担分(千円) | 0 | 0 | 0 | 0 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|---------------------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 寄附金額 | 千円 | 638,573 | 664,757 | 691,437 | 950,000 |
| 寄附件数 | 件 | 16,876 | 17,583 | 17,552 | 23,000 |

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

返礼品の開発等に係る補助金制度を活用した新規返礼品開発の促進、ポータルサイト内での検索連動型広告の実施、レビュー対策として返礼品にレビュー投稿してくれた寄附者へ粗品の進呈、東京都内の主要駅構内でのデジタルサイネージの掲示、会員機関紙に本市返礼品の特集ページを掲載、メールマガジンの定期的な配信を実施することで、前年度と比較して寄附金額は上回る結果となった。

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | 返礼品の開発・改良を促進するため補助金制度の創設、返礼品に関する情報充実を図るためのレビュー対策、寄附者へのメールマガジンを定期的に配信するなど、返礼品の充実と寄附者へPRすることで寄附額の増につなげた。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|---|
| 課題・問題点 | 本市の返礼品は、地場産品である毛布やニット製品で約7割を占め、ふるさと納税で人気のある食品や日用品は非常に少ない状況である。今後、さらに寄附金額を受け入れるためには、人気のある食品や日用品の返礼品の開発を行い、寄附者にとって魅力ある返礼品を揃えていく必要がある。 |
|--------|---|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|--|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 目標としていた寄附金額には達していないことから、魅力ある返礼品の開発促進とプロモーション活動を実施し、自主財源の確保に努める。返礼品の充実には返礼品提供事業者の協力が不可欠であることから、職員が積極的に返礼品提供事業者へ訪問する。また、新たな返礼品開発に向け意見交換を行い、補助金制度の活用を促しながら寄附者に喜んでもらえる返礼品をとともに開発していく。さらに、本市を寄附先として選んでもらえるよう、中間事業者の専門的知見に基づいた効果的なプロモーションを活動を行い、寄附額増につなげていく。 |

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|----------------------------|----------|----|---------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス | ②市政の情報発信 | 1 | 広報活動の充実 |

| | | | |
|-----|--------|------|-------|
| 事業名 | 広報活動事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|--------|------|-------|

【事業の概要】

| |
|---|
| (事業の目的・趣旨) |
| すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を随時、公開・公表することで行政の透明化を図ることを目的とする。 |
| (事業概要等) |
| ホームページやLINEをはじめとしたSNSなどで、市の取り組みや市政に関する情報を提供するとともに、市の認知度の向上と魅力を発信していく。 |

【事業費】

| 項目／年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 9,635 | 9,543 | 31,878 | 12,093 | |
| うち市負担分(千円) | 2,408 | 1,711 | 6,372 | 4,844 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|---|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ホームページのアクセス数 | 回 | 2,564,858 | 1,891,745 | 1,714,807 | 2,000,000 |
| フェイスブックのフォロー数 | 件 | 2,214 | 2,294 | 2,350 | 2,500 |
| LINEのお友だちの数 | 件 | 19,358 | 66,822 | 67,614 | 69,000 |
| (指標を設定できない理由) | | | | | |
| (成果の概要) | | | | | |
| 若手職員によるシティプロモーションワーキンググループを設置し、重点的にプロモーションを行うターゲットや地域、打ち出すべき市の特徴、具体的な情報発信方法等を整理した。この検討結果をもとに、市の魅力を効果的に伝えるためのツールとしてポスター、パンフレット、PR動画、ブランドメッセージを作製。また、市の魅力や特徴を分かりやすく紹介した移住・定住特設サイトを開設した。 | | | | | |

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | これまでは、誰に何をどのように伝えるかが明確でなかったことから、若手職員によるワーキンググループで、情報を伝えるターゲット、打ち出すべき市の特徴的な取り組み、その取り組みを効果的に情報発信していくにはどうすればいいかを明確に整理し、全庁的な共通認識とした。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|---|
| 課題・問題点 | イベント出展時に来場された人にアンケートを実施したが、本市を知っている割合は全体の30%ほどであった。移住を促進させるためには、まず知ってもらうことが重要であることから、積極的にイベントへ出展し、市の認知度を向上させる必要がある。また、市民に市の取組や施策を分かりやすく伝え、住み続けたいと思ってもらう必要がある。 |
|--------|---|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|---|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 市の認知度向上及びシビックプライドの醸成は、短期間で結果が出るものではないことから、継続してシティプロモーション活動を行うことが必要である。ポスターやリーフレットなどの情報発信媒体を活用し、引き続きイベント等で市の魅力を伝えていく。また市民の皆さんに市の魅力や取組を発信する仕組みも構築し、市民とともに情報発信を行う。さらに、市の取組みや施策を分かりやすく伝えるため、動画の配信や広報紙へのパンフレットの挟込みを行い、住んでみたい・住んでよかった・住み続けたいと思ってもらえるプロモーション活動を行う。 |

事務事業評価シート(概要説明書)

| | | | | |
|------------------|----------------------------|----------|----|---------|
| 第4次総合計画 の位置づけ | 政策名 | 基本施策名 | NO | 施策の展開方向 |
| | ⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス | ②市政の情報発信 | 1 | 広報活動の充実 |

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 事業名 | 広報紙発行事業 | 担当課名 | 秘書広報課 |
|-----|---------|------|-------|

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報、イベントなどの情報を市民に提供することを目的とする。

(事業概要等)

毎月31,000部発行し、自治会での配布、個人からの申し出によるポスティング、公共施設や市内にある公共交通機関3駅、スーパーマーケットの入口付近に配架し、一人でも多くの人に配付する。

【事業費】

| 項目／年度 | R03 (決算額) | R04 (決算額) | R05 (決算見込額) | R06 (予算額) | 備考 |
|------------|--------------|--------------|----------------|--------------|----|
| 事業費総額(千円) | 14,346 | 19,518 | 32,348 | 35,088 | |
| うち市負担分(千円) | 13,160 | 18,344 | 31,304 | 31,482 | |

【事業実績・成果】

| 事業実績(活動指標)・成果(成果指標) | 単位 | R03年度 実績値 | R04年度 実績値 | R05年度 実績値 | R06年度 目標値 |
|---------------------|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 広報紙配布実数 | 部(月) | 29,307 | 28,580 | 28,711 | 29,450 |
| | | | | | |

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

広報紙の配布実数は、大きく増減することなく推移しているが、内訳としてポスティングが、わずかだが増加傾向にある。公共施設、市内にある公共交通機関の駅、スーパーマーケットにも配架し、多くの市民に広報紙を手にとってもらえるようにしている。また、ホームページへの掲載、毎月1日にはLINE登録者に広報紙発行のお知らせも行い、いつでも、どこでも、手軽に見てもらえるようにしている。

【事業の見直し】

| | |
|--------------------|--|
| R4年度からの 変更点・改善点 | 若者から高齢者までの幅広い意見や要望を紙面に反映し、親しみやすく、かつわかりやすい紙面とするために毎月LINEアンケートを実施。また、作成業務については外部委託を行い、読みやすく、わかりやすいレイアウトの紙面となるよう、委託事業者と密に連携を取り、トレンドにあった紙面づくりに努めている。 |
|--------------------|--|

【事業の課題】

| | |
|--------|--|
| 課題・問題点 | 作成業務の外部委託により見やすさは向上したが、市民が求めている情報を限られた紙面でいかにわかりやすく、伝えていくことができるかが重要。また、全世帯に広報紙を配布し、情報をより多くの市民に届ける必要がある。 |
|--------|--|

【事業の評価・方向性】

| | |
|-----------------|--|
| 担当課の評価 | B 改善し継続 |
| 上記評価理由および今後の方向性 | 市民が求めている情報、また市が届けたい情報は常に変化することから、LINEアンケートでニーズを把握し、その時勢に合わせた情報を市民に広く届ける必要がある。LINEアンケートでいただく意見や要望に注視し、読み手が何を求めているかの把握に努め、わかりやすい紙面づくりを行っていく。また、広報紙の配布方法について、全世帯への配布するには、どの方法が適切かを他自体例を参考に、本市の実情に合った方法を調査研究し、関係機関と協議を行っていく。 |